

事業報告

I 概要

平成 28 年度は、3 年毎に開催される「瀬戸内国際芸術祭 2016」や、4 年に 1 度の「逆打ち遍路」の年に当たり、4 月 29、30 日には「G7 香川・高松情報通信大臣会合」が、5 月 11～13 日には平成 29 年春実施の四国デスティネーションキャンペーンの全国宣伝販売促進会議が開催されるなど、本県がこれまで以上に、国内外から大きな注目を集めるとともに、多くの観光客が来訪された。こうした状況の中、当協会では、おもてなし力の向上や観光圏の体制づくりを図るとともに、市町観光協会、関係団体等と連携を密にし、国内外からの誘客促進に積極的に取り組んだ。

●香川の“おもてなし力”の向上

近年は観光客誘致の地方間競争が特に激しくなっており、この競争を勝ち抜くためには、観光地の魅力向上や食の充実に加え、地域をあげて観光客をお迎えする“おもてなしの心”が特に重要である。このためには、観光事業に従事する者はもとより、多くの県民が地元を知り、郷土愛を醸成し、誇りを持って来訪者に接することが不可欠である。

このため、平成 28 年度は、観光従事者やタクシー乗務員、バス従業員を対象にした「おもてなし研修」や、県民に香川のことを学んでもらう「さぬきアカデミー」や「地域塾」などを開催し、香川の“おもてなし力”の向上を図った。

また、平成 28 年 2 月にリニューアルした高松空港の観光案内所と、同年 3 月に高松市と新たに整備した JR 高松駅構内の観光案内所において多言語（英・中・韓）で対応するなど、外国人を含めた観光客等の利便性の向上を図った。

●観光圏の推進

平成 27 年 4 月に国土交通省の認定を受けた「香川せとうちアート観光圏」を推進するプラットフォームとして、また、平成 28 年 2 月に観光庁の登録を受けた日本版 DMO 候補法人として、本県の強みである瀬戸内海や圏域内に点在するアート・文化資源等を独自の価値として確立するとともに、圏域内での周遊・滞在の促進、来訪者への情報発信等に取り組んだ。

●国際観光

高松空港に定期路線が就航している上海（中国）、ソウル（韓国）、台北（台湾）、平成 28 年 7 月から新たに定期路線が就航した香港及び台北線を利用して同日乗り継ぎが可能なタイなどを主たるターゲットとして、現地でのキャンペーンの実施や旅行展示会への出展、旅行会社やマスコミの招聘、外国語パンフレットやノベルティグッズの作成・配布等を実施したほか、旅行会社に対しツアー造成の動機付けを行うための助成を行った。

Ⅱ 事業内容

(公益事業1) 観光情報発信事業

1 情報発信事業

(1) ウェブ観光情報提供事業

- 平成28年2月末に全面リニューアルした県公式観光サイト「うどん県旅ネット」において、観光客等が必要とする旬できめ細やかな観光情報を分かりやすく発信し、本県への誘客を促進するため、モデルコース・特集ページの見直しや充実を図るなど、リニューアル後も積極的な更新に努め、“飽きられない”サイト運営を行った。

※「うどん県旅ネット」ページビュー数 約17,700件/日

- 増加するインバウンドに対応するため、多言語サイトを作成したほか、本県の主要観光地である栗林公園の情報発信を強化するため、栗林公園の公式サイトと「うどん県旅ネット」の栗林公園専用サイトを一体化するリニューアルを行った。

※英語サイト 28年12月11日公開

※中国語(繁体字、簡体字)、韓国語、タイ語サイト 29年1月16日公開

※栗林公園の情報発信サイト 28年9月29日リニューアル

(2) うどん県アート県ブランドプロモーション事業

- 本県の知名度やブランドイメージの向上を図り、旅行先や県産品の購入先として“選ばれる香川”になるよう、本物志向が高いと思われる30代から50代の女性をメインターゲットとして、記号の「カッコ」と「格好つける」をかけた“カッコつけます。うどん県”をキャッチフレーズに、県産品を要潤うどん県副知事が、アートを宮本亜門氏が紹介する動画とポスターを制作し、ウェブ配信や首都圏での交通広告等による情報発信を行った。
- 昨年に引き続き、「自分だけの特別を見つける島旅」をテーマに、瀬戸内の多島美を楽しむ映像“かがわ極上休日”を制作し、ウェブ配信を行うとともに、木内晶子うどん県副知事によるPR冊子を作成し、県外メディアや旅行会社等に配布した。
- 平成28年10月から12月にかけて放映されたアニメ「うどんの国の金色毛鞠」とコラボレーションし、先行上映会において観光PRを行うなど情報発信に努めるとともに、ロケ地マップを「うどん県旅ネット」で公開した。
- 平成30年度に瀬戸大橋が開通30周年を迎えるのを控え、瀬戸大橋をテーマにしたポスターを作成した。

(3) 全国年明けうどん大会開催関連事業

平成28年12月10日、11日にサンメッセ香川で開催された3回目となる「全国年明けうどん大会」へ、広く県外からの誘客が図られるよう、大都市圏での交通広告による情報発信を行うとともに、大会へのバスツアー造成を支援(5社)した。

※全国年明けうどん大会集客数 41,800人

(4) 香川フィルムコミッション事業

本県の知名度の向上と誘客を図るため、映画制作会社等にロケ地等の情報提供を行うとともに、地元関係団体及び県民の協力を得ながら、ロケ誘致、支援に努めたほか、平成28年2月にリニューアルした「うどん県旅ネット」の専用ページにおいて、積極的な情報発信に努めた。

※支援実績 映画1本、テレビ35本、CM19本、その他35本

⑨ (5) 香川せとうちアートブランド発信事業（観光圏事業）

香川せとうちアートブランドの知名度向上と定着化を図るため、「うどん県旅ネット」に、「香川せとうちアート観光圏」の特設ページを開設した。

⑩ (6) 四国2観光圏ブランド発信事業（観光圏事業）

隣接する「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」と連携し、海と山の文化や景観、現代アートと歴史的な建造物など、対照的な両観光圏独自の観光資源を活用した、四国に3泊4日以上滞在する旅行商品の造成に繋げるため、首都圏の大手旅行会社やメディア等を対象に、両観光圏をPRするセミナーや両観光圏を巡るファミツアーを実施したほか、2か国語（日本語・英語）のパンフレットを作成するなど、両観光圏の認知度向上及び誘客促進を図った。

※パンフレット 4,700部作成（日本語3,400部、英語1,300部）

2 刊行物発行事業

⑪ (1) 旅行会社等向け観光素材集作成事業（観光圏事業）

圏域外からの移動（鉄道、バス、飛行機）と、圏域内での滞在プログラムがセットになった旅行商品の造成を促すため、本観光圏の観光素材集を作成し、全国の旅行会社や旅行雑誌社等に配布した。

※3,000部作成

⑫ (2) 旅行者向け観光ガイドブック作成事業（観光圏事業）

個人旅行者に圏域内を周遊してもらい、圏域内での滞在時間の拡大を図るとともに、本観光圏のブランドコンセプトの定着化を図るため、「香川せとうちアートブランド」の紹介や、本観光圏が有するアートや文化施設、観光地、観光施設等の詳しい情報、季節に合わせた旬の情報などを掲載した旅行雑誌のような旅行者向け観光パンフレット「瀬戸の恵み さぬきの旅」を作成し、県内外に配布した。

※70,000部作成

⑬ (3) “せとうちアート”の魅力探訪ガイドブック作成事業（観光圏事業）

“せと”の魅力や、現代アートだけでなく様々な“アート”の魅力を掘り起こすとともに、県民の方が香川の良さを知り、誇りをもってもらうことにより、“おもてなし”の向上に繋げるため、古くから文化、情報の交流の場となった小豆島や島嶼部の歴史にスポットをあてたガイドブック「かがわ瀬戸内島物語」を作成し、広く県民に配布した。

※10,000部作成

(公益事業2) 観光客誘致事業

1 海外キャンペーン事業

(1) 海外からの観光客誘致事業

- 台北線については、台湾からの一層の観光客誘致のために、現地において新聞や雑誌などメディアを利用した情報発信を行うとともに、旅行博や台湾ランタンフェスティバルに出展するなどのプロモーションを実施したほか、旅行会社に対して旅行商品造成及び送客を働きかけた。また、台湾全土からの誘客と、秋季の高雄線チャーター便の利用促進等を図るため、台中・台南の旅行会社を対象とした現地観光セミナーを開催したほか、台南での国際旅行博に初めて出展した。

また、台湾の若者へのPRのため、大学生、高校生を対象とした香川の旅コンテストを初めて開催したほか、台湾との交流促進を図るため、台湾交通部観光局から寄贈された台湾ランタンを瀬戸内国際芸術祭 2016 の夏会期に合わせて、サンポート高松・アート広場に展示するとともに、三三会鄭顧問を招聘し、「台湾から見た日台の歴史について」と題した講演会を開催した。

さらに、台北での同日乗り継ぎが可能であるタイ等からの誘客促進を図るため、タイ、シンガポールの旅行会社を対象にファムツアーを実施し、商品造成及び送客を働きかけるとともに、現地旅行博への出展やメディアを活用したプロモーションなどを実施した。

- 上海線については、現地旅行会社に対する旅行商品造成の働きかけや、現地でのウェブメディアを活用した観光情報発信、さらには訪日旅行イベントへの出展等のプロモーション活動に努めた結果、平成 27 年から販売を開始した個人型旅行商品や県内宿泊を組み込んだ団体ツアーの増加等を背景に、平成 29 年 1 月より、週 4 便から週 5 便に増便された。
- ソウル線については、現地での旅行会社主催の旅行博への出展に加え、「日韓交流おまつり 2016in ソウル」などのイベントへの出展も積極的に行い、本県の一層の認知度向上に努めた。また、団体旅行商品はもとより、秋季から春季にかけてのゴルフツアー商品の造成及び販売促進を図るため、旅行会社等への誘客PRなどに取り組んできた結果、平成 28 年 10 月に本路線の運航がアジアナ航空から同グループのエアソウルに移管されたのにあわせ、週 3 往復から週 5 往復に増便され、利便性が大きく向上した。
- 香港線については、台北線を利用して同日乗り継ぎが可能であり、訪日人気も高かったことから、旅行博への出展や現地旅行会社・メディア向けの観光説明会の開催など、積極的なPR活動等を行ってきた結果、平成 28 年 7 月から、香港エクスプレスによる高松への直行便が就航した。就航後も、現地旅行雑誌への広告掲載をはじめ、栗林公園などをラッピングした特別塗装機によるPR広告など積極的なプロモーション活動を実施した。
- 富裕層・欧米からの誘客促進を図るため、「第 17 回ジャパンエキスポ」(パリ)に高松市と共同で出展するとともに、高知県と連携した庭園・盆栽を切り口とするSIT向けのメディア招請や、フランス企業の福利厚生担当者招請などを実施したほか、「ANA アジア・オセアニア視察団」の受入も行った。

- 受入態勢整備のため、多言語表示やインターネット環境の充実に取り組むとともに、観光案内所や宿泊施設などを対象に、外国人旅行者とのコミュニケーションや急病・怪我への対応、外国人旅行者の受け入れに役立つツールやウェブサイトなどを学ぶインバウンド講習会を開催した。

また、国や関係機関が保有する本県関連既存統計データを分析し、今後のインバウンド戦略を立案・検証するための調査事業を実施した。

(2) 外国人観光客誘致対策補助事業

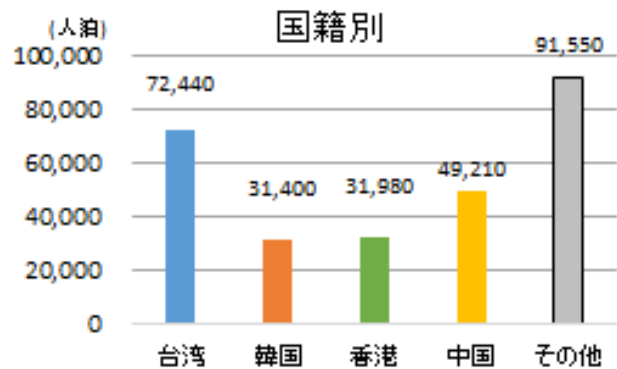
台北線、上海線、ソウル線を利用し、県内で宿泊するツアーを催行した旅行会社に対して補助金等を交付した。

【観光庁 宿泊旅行統計調査 平成 28 年（1-12 月速報値）】

◆外国人延べ宿泊者数

※従業者数 10 人未満の施設を含む 356,730 人泊（前年比 1.69 倍）

※従業者数 10 人以上の施設 276,580 人泊（前年比 1.64 倍）



2 観光客誘致促進事業

(1) 食とアートのテーマ観光推進事業

平成 27 年度に作成した「さぬきうどん百店満点」掲載店における、年末年始やお盆、GW など大型連休中の営業状況を「うどん県旅ネット」で公開するなど、観光客の目線に立った情報発信を行った。

(2) うどん県ツーリズムバス助成事業

四国外の発着で、本県内に 1 泊以上宿泊する団体バスツアーを催行する旅行会社やバス会社に助成を行い、本県への団体旅行客の誘客を図り、旅館・ホテルの平日利用を促した。

※助成実績 催行ツアー数 111 件 助成額 291 万円 宿泊者数 6,357 名

(3) 国内航空路線活用誘客事業

東関東エリア等をターゲットとし、航空会社と連携して、瀬戸内海やアート、グルメなどをテーマにした旅行プランの紹介・提案を行うとともに、成田空港利用促進イベントへの参加や、LCC を利用した旅行者に対するレンタカー助成など、国内航空路線を活用した観光プロモーションを実施した。

(4) クルーズ客船誘致事業

- 日本船社やチャータークルーズを行うエージェント等を訪問し、香川県の観光情報を提供するなど、旅行商品造成を働きかけた。

- 海外からのクルーズによる観光客を誘致するため、外国クルーズ船社のキーパーソン等の視察を受入れるなど、誘致活動を実施した。

※クルーズ船受入実績 飛鳥Ⅱ等 10 隻、延べ 16 日

(5) MICE誘致事業

平成28年10月19日に岡山市で開催された日中韓3か国地方政府交流会議のエクスカージョンが10月20～21日に実施され、本県にも会議参加者が来県し、小豆島や栗林公園、金刀比羅宮等を訪問した。

※歓迎レセプション 10月20日 栗林公園商工奨励館 参加者数約80名

⑨ (6) 観光客の利便性・満足度向上事業

周遊型観光ツールとして新たな公式観光パスポート「うどん県おもてなしパスポート」を作成するとともに、平成29年4～6月にJRグループ等が実施する「四国デスティネーションキャンペーン」のため、平成28年5月11～13日に、全国から旅行会社やマスコミ等を招き、商品造成と誘客を促進するための「全国宣伝販売促進会議」を開催したほか、9月17、18日には、JR大阪駅でPRイベントを実施した。

※全国宣伝販売促進会議 参加者約700人

⑨ (7) 周遊型・体験型旅行商品（滞在プログラム）造成事業（観光圏事業）

観光地や伝統的町並み、芸術・文化や産業（農林水産業や製造業など）といった地域資源を活かした周遊型・体験型の旅行商品（滞在プログラム）を造成するため、市町、市町観光協会、民間事業者をメンバーとする「滞在プログラム造成ワーキンググループ」を11回開催するとともに、旅行会社等を交えたモニターツアーを2回開催し、モデル旅行商品を7件造成した。

⑨ (8) 「てくてくさぬき」商品化支援事業（観光圏事業）

本圏域において平成19年から実施している、市町や観光協会、商工会、女性団体、学校などが主体となり、地域の歴史、文化、自然、産業、食などを地元を知り尽くしたガイドが案内するまち歩き「てくてくさぬき」を催行する団体向けに、コースの商品化に向けて必要な知識を学ぶセミナーを開催するとともに、インターネット販売サイトに商品登録するサポートを実施した。

⑨ (9) せとうちアートクルーズ事業（観光圏事業）

さぬき市と東かがわ市が共同実施主体となり、瀬戸内国際芸術祭2016の夏会期に合わせ、マザーポートである高松港を発着地とし、数十億年という長い年月をかけて地球が作りだした自然のアート「ジオサイト」を瀬戸内海上から優雅に鑑賞し、悠久の刻の流れを実感するとともに、陸上からは見ることができない新しい発見と感動を提供するクルーズ船をモデル的に運航した。

※運航日 28年8月21、28日 2便/日

⑨ (10) 「うどん県。それだけじゃない香川県」誘客キャンペーン

平賀源内の半生を描くミュージカル「奇想天外 歌舞曲劇『げんない』」の全国公演を活用した県観光PRを行った。

主催：わらび座（秋田県仙北市）

日程：28年5月～29年7月

3 日本観光振興協会拠出事業

日本観光振興協会が実施する広域観光振興事業に対し、事業費負担を行った。

(公益事業3) 受入態勢整備事業

1 栗林公園管理支援事業

香川の貴重な文化遺産であり、主要な観光施設でもある栗林公園の保存・利用促進を目的として、県からの委託により造園補助や南湖での和船運航を実施した。

2 観光香川おもてなし運動推進事業

国内外から本県を訪れる観光客の満足度向上を図るため、県やわがかがわ観光推進協議会などと連携し、「さぬきアカデミー」や「観光従事者向け・タクシー事業者向け・バス従業員向けおもてなし研修会」を開催するとともに、「香川おもてなしタクシー」の認定を行うなど、全県的な「観光香川おもてなし運動」を展開した。

※観光香川おもてなし運動県民会議への出席 28年11月1日

※さぬきアカデミーの開催 10回開催、延べ参加者数419名

※観光従事者向けおもてなし研修会の開催 4回開催、延べ参加者数82名

※タクシー乗務員向けおもてなし研修会の開催・香川おもてなしタクシーの認定
・研修会 12回開催、延べ参加者数203名
・認定 更新99名、新規86名

※バス従業員向けおもてなし研修会の開催 4回開催、延べ参加者数61名

3 外国人観光客受入拠点事業

(1) JR高松駅の「香川・高松ツーリストインフォメーション※1」と、高松空港の「高松空港インフォメーションセンター※2」を運営し、外国人を含めた観光客等の利便性の向上を図った。

なお、両観光案内所は、それぞれ平成28年9月と10月に、日本政府観光局(JNTO)の外国人観光案内所認定制度におけるカテゴリ-3の認定(平成29年4月末現在、中・四国地域ではこの2か所のみ。)を受けた。

※1 香川・高松ツーリストインフォメーション

28年度案内実績69,445人、うち外国人18,597人

(香港3,569人、中国2,901人、台湾2,801人、韓国1,850人)

※2 高松空港インフォメーションセンター

28年度案内実績84,041人、うち外国人3,423人

(香港981人、中国797人、韓国741人、台湾608人)

④ 4 観光品質認証制度研究事業(観光圏事業)

宿泊施設の設備やサービスの品質を第三者が評価・認証・表示することにより、観光客への情報提供と、宿泊事業者が提供する「おもてなし」などのサービスの向上を図る観光品質認定制度の導入を検討するため、県内の宿泊事業者向けに、雪国観光圏などが導入している「SAKURA QUALITY」と、経済産業省が創設した「おもてなし規格認証」に関する勉強会を平成29年3月15日に開催した。

※参加者数：24名

⑤ 地域塾開催事業（観光圏事業）

平成26年度から開催している、香川の歴史、文化、芸術、食など様々な分野に精通した講師による県民向け講座「さぬきアカデミー」に加え、地域の良さを知り、誇りと思ってもらうため、圏域内の4市町（丸亀市、坂出市、観音寺市及び宇多津町）においても同様の「地域塾」を開催した。

⑥ 観光ボランティアガイド育成研修事業（観光圏事業）

本圏域内の5地域（高松、小豆島、東讃、中讃及び西讃）で活動している観光ボランティアガイドを対象として、危機管理などガイドのノウハウを学ぶ研修会を開催した。

※研修参加者合計：66名

⑦ 圏域内観光案内所機能向上事業（観光圏事業）

県や市町の観光協会等が設置している各観光案内所が連携し、観光情報をワンストップで提供できる体制を整備するため、各観光案内所職員をメンバーとする「観光案内機能向上ワーキンググループ」を3回開催するとともに、観光案内所職員が他地域を学ぶための「広域観光研修会」を、にし阿波～吉野川・剣山観光圏、直島及び小豆島において開催した。

⑧ マーケティング調査事業（観光圏事業）

本圏域を訪れた観光客の実態調査（旅行目的、訪問回数、消費金額、満足度、再来訪意向等）を実施し、今後の本観光圏の戦略策定等の基礎資料とした。

⑨ 全国観光圏推進協議会推進事業（観光圏事業）

全国13観光圏が連携し、全国観光圏推進協議会を5回、観光地域づくりマネージャーレベルアップ研修を4回、観光圏シンポジウムを熊本県で開催するとともに、観光圏共通の情報発信ツールの作成や全国共通の来訪者満足度調査などを行った。

⑩ 観光地域づくりプラットフォーム人材育成事業（観光圏事業）

行政や観光協会、民間事業者などが、観光圏戦略会議やワーキンググループなどで議論を深めることにより、本観光圏の整備を担う人材を育成するため、観光圏戦略会議を5回、ワーキンググループ（農商等他産業連携、滞在プログラム造成、観光案内機能向上、インバウンド受入態勢、ブランド価値総括、西讃、中讃）を延べ33回開催した。

11 四国4県観光協会連合事業

域内交流の促進のため、四国4県の主要なショッピングモール等において観光キャンペーンを実施した。

また、おもてなし力の向上を図るため、新たに「四国おもてなし感激大賞」を創設し、「おもてなし」により観光客に感激・感動を与えた事業者等を顕彰した。

※観光キャンペーンの実施

6/26 香川「イオンモール綾川」 7/2 愛媛「エミフルMASAKI」
7/24 高知「ひろめ市場」 7/30 徳島「ゆめタウン徳島」

※四国おもてなし感激大賞

応募総数 77 件
大賞 琴弾荘（香川）
準大賞 松山観光ボランティアガイドの会（愛媛）
足摺国際ホテル（高知）
和の宿ホテル祖谷温泉（徳島）

（法人会計）組織活動事業

（1）会議の開催及び関係団体の開催する会議への出席

①理事会

- ・ 第1回
期日）平成 28 年 5 月 26 日
内容）通常総会提出議案の審議等
- ・ 第2回
期日）平成 28 年 6 月 17 日
内容）役員（会長、副会長、専務理事）の選任及び会員の入会について
- ・ 第3回
期日）平成 28 年 12 月 14 日
内容）平成 28 年度事業の進捗状況及び平成 29 年度事業計画等について
- ・ 第4回
期日）平成 29 年 3 月 21 日
内容）平成 29 年度事業計画（案）・収支予算（案）等について

②総会

期日）平成 28 年 6 月 17 日
内容）平成 27 年度事業報告・収支決算について
平成 28 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
役員の特任について

（2）地域行事等の後援等

高松冬のまつり他各種事業の後援等

（3）各種関連団体事業への協力

四国ツーリズム創造機構他各種事業に協力

（4）観光事業功労者等の表彰

観光事業従事者の資質の向上を図るため、観光事業の発展に寄与し功績が著しい観光事業功労者及び優良事業者の表彰を行った。

・ 功労者 3 名、優良従事者 20 名

（5）会員拡大による運営基盤強化

入会ご案内のパンフレットを作成し、配布した。

※28 年度末会員数：229（27 年度末会員数：216）

事業報告の附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。